

バックアップ装置

バックアップ装置

1.概要

型名	製品名
内蔵 DAT	
N8151-12BC	内蔵 DAT
N8151-45	内蔵 DAT
N8151-27	内蔵 DAT 集合型
N8151-39	内蔵 DAT 集合型
内蔵 DLT	
N8151-17	内蔵 DLT
内蔵 SDLT	
N8151-38	内蔵 SDLT
内蔵 AIT	
N8151-34A	内蔵 AIT
N8151-46	内蔵 AIT
N8151-41A	内蔵 AIT
N8151-50	内蔵 AIT(IDE)
N8151-36	内蔵 AIT 集合型
N8151-29	内蔵 AIT 集合型
内蔵 LTO	
N8151-37	内蔵 LTO
N8151-40	内蔵 LTO

型名	製品名		
外付 DAT			
N8560-22	外付 DAT		
N8560-13AC	外付 DAT 集合型		
N8560-23	外付 DAT 集合型		
外付 DLT			
N8560-14	外付 DLT		
N8160-29	外付 DLT 集合型		
N8160-30	DLT 集合型(ラックマウント用)	5U	6U
N8160-31	DLT 集合型 ラックマウント搭載キット	1U	
外付 LTO			
N8160-46	外付 LTO		
N8160-34	外付 LTO 集合型		
N8160-35	LTO 集合型(ラックマウント用)	4U	
N8160-36	LTO 集合型 ラックマウント搭載キット		
外付 AIT			
N8160-43	AIT 集合型(ラックマウント用)	1U	
AIT ライブラリ関連			
N8160-41	AIT ライブラリ(ラックマウント用)	2U	
N8160-42	AIT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)		
N8160-44	AIT ライブラリ(ラックマウント用)	2U	
N8160-45	AIT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)		
DLT ライブラリ関連			
N8160-26	Upgrade 型 DLT ライブラリ(ラックマウント用)	5U	
N8160-27	Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設筐体 (ラックマウント用)	5U	
N8160-28	Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設ドライブ		
LTO ライブラリ関連			
N8160-32	Upgrade 型 LTO ライブラリ(ラックマウント用)	5U	
N8160-40	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体 (ラックマウント用)	5U	
N8160-33	Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ		

2.機能仕様

■ DAT

型名	N8151-12BC	N8151-45 *6
形態	内蔵単体	内蔵単体
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1.18MB/s *4	2.36MB/s *5

型名	N8151-27	N8151-39
形態	内蔵集合型	内蔵集合型
規格	DDS1/2/3/4 *3	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12/20	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24/40	4/8/24/40
実効転送速度 *2	3MB/s *5	2.36MB/s *5
カートリッジ収容数	6	8 *7

型名	N8560-22
形態	外付単体
規格	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24/40
実効転送速度 *2	2.36MB/s *5
外形寸法(WxDxH)	198x256x64.5[mm]
消費電力	120VA
質量	2.3Kg
AC ケーブル長	2.5m

型名	N8560-13AC	N8560-23
形態	外付集合型	外付集合型
規格	DDS1/2/3	DDS1/2/3/4 *3
非圧縮時容量(GB)*1	2/4/12	2/4/12/20
平均圧縮容量(GB)*1	4/8/24	4/8/24/40
実効転送速度 *2	1MB/s *4	3MB/s *5
カートリッジ収容数	6	6
外形寸法(WxDxH)	165x270x134[mm]	165x269x135[mm]
皮相電力	35VA	35VA
消費電力	25W	13.4W
質量	5.0kg	4.5kg
AC ケーブル長	2.2m	2.2m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)DDS1 テープは読み込み(READ)のみ可能。

*4)DDS3 カートリッジテープを使用した場合の値。

*5)DDS4 カートリッジテープを使用した場合の値。

*6)3.5"/5"ベイ両用。

*7)カートリッジテープのマガジンへのセットは、クリーニングテープを含めて、1 巻,7 巻,8 巻のいずれかをセットして使用する必要あり(1 巻,7 巻,8 巻以外の巻数では使用できません)。

■ DLT

型名	N8151-17	N8560-14
形態	内蔵単体	外付単体
規格	DLT7000	DLT7000
非圧縮時容量(GB)*1	35	35
平均圧縮容量(GB)*1	70	70
実効転送速度*2	5.0MB/s	5.0MB/s
外形寸法(WxDxH)	-	229x325x124[mm]
皮相電力	-	80VA
消費電力	-	47W
質量	-	6.7Kg
AC ケーブル長	-	3m

型名	N8160-29	N8160-30
形態	外付集合型	外付集合型(ラックマウント用 6U)
規格	DLT8000	DLT8000
非圧縮時容量(GB)*1	40	40
平均圧縮容量(GB)*1	80	80
実効転送速度*2	6MB/s	6MB/s
カートリッジ収容数	9	9
外形寸法(WxDxH)	229x690 x235[mm]	219x690 x235[mm]
皮相電力	220VA	220VA
消費電力	100W	100W
質量	約 23Kg	約 23Kg
AC ケーブル長	4.0m	4.0m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

N8160-29、-30 には SCSI コントローラ N8103-31A、ケーブル K408-31C が必須。

N8160-31:DLT 集合型ラックマウント搭載キット

N8160-30 をラックマウントに搭載するためのキット

N8160-30 搭載用トレイ、ラック取り付けブラケット、パネル等の機材一式

■ SDLT

型名	N8151-38 *4
形態	内蔵単体
規格	SuperDLT *3
非圧縮時容量(GB)*1	110
平均圧縮容量(GB)*1	220
実効転送速度*2	11MB/s

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)DLTtape (20/35/40GB Media Format)の読み出しが可能。

*4) 本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに「68 ピン(Wide)→50 ピン(Narrow)」変換コネクタが取り付けられている場合は変換コネクタを取り外してください。変換コネクタが取り付けられていると SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに Single-Ended 装置(「3.インターフェース」参照)が取り付けられている場合、SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

■ AIT

型名	N8151-34A *7	N8151-46 *7	N8151-41A *7 *9	N8151-50 *8
形態	内蔵単体	内蔵単体	内蔵単体	内蔵単体 (IDE)
規格	AIT-1	AIT-1/2	AIT-1/2/3	AIT-1
非圧縮時容量(GB)*1	25/35	25/35/50	25/35/50/100	25/35
平均圧縮容量(GB)*1	50/70	50/70/100	50/70/100/200	50/70
実効転送速度 *2	4MB/s *3	6MB/s *4	12MB/s *5	2.5MB/s *3 *10

型名	N8151-36	N8151-29	N8160-43
形態	内蔵集合型	内蔵集合型	外付集合型(ラックマウント用 1U)
規格	AIT-1	AIT-1/2	AIT-1/2/3
非圧縮時容量(GB)*1	25/35	25/35/50	25/35/50/100
平均圧縮容量(GB)*1	50/70	50/70/100	50/70/100/200
実効転送速度 *2	4MB/s *3	6MB/s *4	12MB/s *5
カートリッジ収容数	4 *6	4 *6	8
外形寸法(WxDxH)	-	-	430x660x43[mm]
皮相電力	-	-	100VA
消費電力	-	-	55W
質量	-	-	13.5Kg
AC ケーブル長	-	-	3m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)AIT-1 カートリッジテープを使用した場合の値。

*4)AIT-2 カートリッジテープを使用した場合の値。

*5)AIT-3 カートリッジテープを使用した場合の値。

*6)マガジンの全てのカートリッジスロットに収容して使用する必要あり。

*7) 3.5"/5"ベイ両用。

Express5800/140Hc,140Rb-4 に実装時、本サーバ標準添付のレール取付ネジを使用。

Express5800/140Hc をラックモデルとして使用し、本内蔵 AIT 装置を正面向かって左側のデバイスベイに実装する場合、ラックコンバージョンキット標準添付の「デバイスレール」を使用。

*8) 3.5"/5"ベイ両対応。

*9) N8103-56 SCSI コントローラを使用して接続する場合は、必ず本内蔵 AIT 装置添付の SCSI ケーブルを使用してください。添付の SCSI ケーブルは、N8103-56 SCSI コントローラとの接続以外では使用しないでください。

ただし、Express5800/120Rc-2、120Rd-2 の本体装置に実装し、N8103-56 SCSI コントローラで接続した場合のみ本内蔵 AIT 装置添付の SCSI ケーブルは使用せず上記本体装置に添付されている SCSI ケーブルを使用してください。上記本体装置には内蔵 AIT 添付の SCSI ケーブルを実装できるスペースはありません。

本体サーバの外部 SCSI インターフェース(Ultra160SCSI)より N8141-28A デバイス増設ユニットを接続して使用する場合は本体サーバの SCSI バスの SCSI 転送速度を 80MB/sec(40MHz)以下で使用して下さい。

本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに「68 ピン(Wide)→50 ピン(Narrow)」変換コネクタが取り付けられている場合は変換コネクタを取り外してください。変換コネクタが取り付けられていると SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに Single-Ended 装置(「3.インターフェース」参照)が取り付けられている場合、SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

*10)IDE インターフェース接続のため、CPU 負荷状況により下回る場合があります。

N8160-43 には SCSI コントローラ N8103-56、ケーブル K408-31C が必須

■ LTO

型名	N8151-37 *4	N8151-40 *3 *4	N8160-46 *4 *5
形態	内蔵単体	内蔵単体	外付単体
規格	LTO Ultrium	LTO Ultrium	LTO Ultrium
非圧縮時容量(GB)*1	100	100	100
平均圧縮容量(GB)*1	200	200	200
実効転送速度*2	15MB/s	7.5MB/s	15MB/s
外形寸法(WxDxH)	-	-	208x298x122[mm]
皮相電力	-	-	67.8VA
消費電力	-	-	40.3W
質量	-	-	5.3Kg
AC ケーブル長	-	-	2m

型名	N8160-34	N8160-35
形態	外付集合型	外付集合型 (ラックマウント用 4U)
規格	LTO Ultrium	LTO Ultrium
非圧縮時容量(GB)*1	100	100
平均圧縮容量(GB)*1	200	200
実効転送速度*2	15MB/s	15MB/s
カートリッジ収容数	10	10
外形寸法(WxDxH)	223x599x178[mm]	220x599x175[mm]
皮相電力	71.1VA	71.1VA
質量	18Kg 未満	18Kg 未満
AC ケーブル長	3m	5m

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)N8541-28/N8141-28A デバイス増設ユニットへ搭載しての電源連動機能は未サポートです。
Server に電源連動して DC が ON しますが、OFF できません。

*4) 本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに「68 ピン(Wide)→50 ピン(Narrow)」変換コネクタが取り付けられている場合は変換コネクタを取り外してください。変換コネクタが取り付けられていると SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

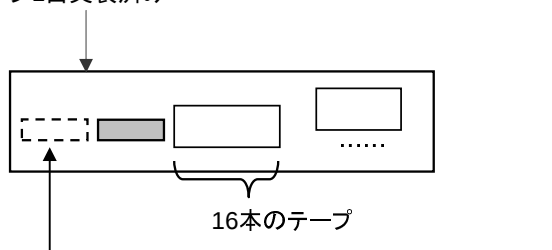
本装置を 80Mbyte/秒(最大、同期)以上に設定できる SCSI インターフェースに接続した時、同一 SCSI ケーブル上の他のコネクタに Single-ended 装置(「3.インターフェース」参照)が取り付けられている場合、SCSI バスの転送レートは 40Mbyte/秒(最大、同期)となります。

*5)本装置は SCSI OUT コネクタに何も取り付けられていない場合には、自動的に終端を有効に設定します。本装置が最遠端になっても終端抵抗を取り付けないでください。

AITライブラリ (ラックマウント型)

N8160-41(AIT-2),-44(AIT-3)

AITドライブ1台実装済み



増設用AITドライブ

N8160-42(N8160-41用)

N8160-45(N8160-44用)



Optionで別途手配

■ AIT ライブラリ

型名	N8160-41	N8160-42
形態	AIT ライブラリ(ラックマウント用 2U)	AIT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)
規格	AIT-1/2	AIT-1/2
非圧縮時容量(GB) *1	25/35/50	25/35/50
平均圧縮容量(GB) *1	50/70/100	50/70/100
実効転送速度 *2	6MB/s *3	6MB/s *3
カートリッジ収容数	16	-
外形寸法(WxDxH)	430x680x88[mm]	-
皮相電力	140VA	-
消費電力	100W	-
質量	約 18Kg	-
AC ケーブル長	2.5m	-

型名	N8160-44	N8160-45
形態	AIT ライブラリ(ラックマウント用 2U)	AIT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)
規格	AIT-1/2/3	AIT-1/2/3
非圧縮時容量(GB) *1	25/35/50/100	25/35/50/100
平均圧縮容量(GB) *1	50/70/100/200	50/70/100/200
実効転送速度 *2	12MB/s *4	12MB/s *4
カートリッジ収容数	16	-
外形寸法(WxDxH)	430x680x88[mm]	-
皮相電力	140VA	-
消費電力	100W	-
質量	約 18Kg	-
AC ケーブル長	3.0m	-

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)AIT-2 カートリッジテープを使用した場合。

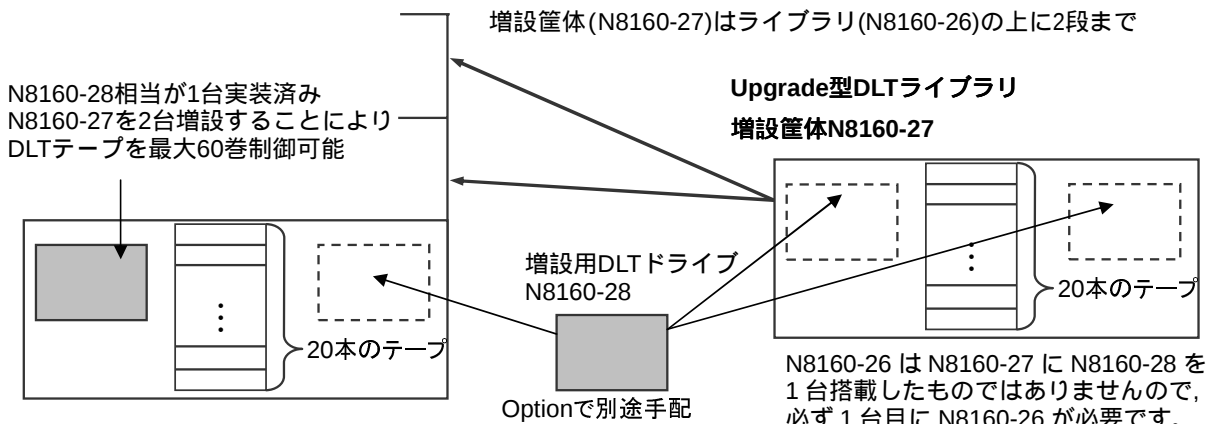
*4)AIT-3 カートリッジテープを使用した場合。

N8160-41,-44 には SCSI コントローラ N8103-56 、ケーブル K408-31C が必須。

N8160-42 は N8160-41 に 1 台まで増設可能。

N8160-45 は N8160-44 に 1 台まで増設可能。

Upgrade型DLTライブラリ N8160-26



■ DLT ライブラリ

型名	N8160-26	N8160-27	N8160-28
形態	Upgrade 型 DLT ライブラリ(ラックマウント用 5U)	Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設筐体(ラックマウント用 5U)	Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設ドライブ(ラックマウント用)
規格	DLT8000	-	DLT8000
非圧縮時容量(GB) *1	40	-	40
平均圧縮容量(GB) *1	80	-	80
実効転送速度 *2	6MB/s *3	-	6MB/s *3
カートリッジ収容数	20	20	-
外形寸法(WxDxH)	442x696x216[mm]	442x696x216[mm]	-
皮相電力	250VA	250VA	-
消費電力	175W	175W	-
質量	約 30Kg	約 25kg	-
AC ケーブル長	4.0m	4.0m	-

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。

平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

*3)DLT テープ を使用した場合。

N8160-26 には SCSI コントローラ N8103-31A、ケーブル K408-31C が必須です。

N8160-27 は N8160-26 に 2 台まで増設可能(1 台増設時:11U、2 台増設時:16U)。

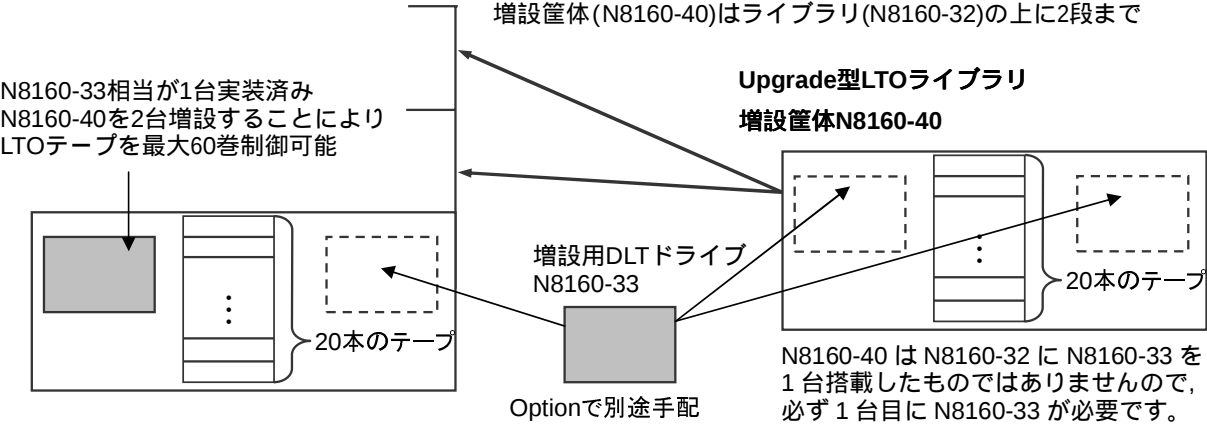
N8160-28 は N8160-26 に 1 台まで、N8160-27 には 2 台まで増設可能

N8160-27 Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設筐体を UPS に接続する場合は、N8160-26 Upgrade 型 DLT

ライブラリと同一の UPS へ接続のこと。

型名	製品名	備考
N8103-57	DLT ライブラリ用 FibreChannel コントローラ	Upgrade 型 DLT ライブラリを、FibreChannel で接続 する際に使用

Upgrade型LTOライブラリ N8160-32



■ LTO ライブラリ

型名	N8160-32	N8160-40	N8160-33
形態	Upgrade 型 LTO ライ ブラリ(ラックマウント用 5U)	Upgrade 型 LTO ライ ブラリ用増設筐体 (ラックマウント用 5U)	Upgrade 型 LTO ライ ブラリ用増設ドライブ (ラックマウント用)
規格	LTO Ultrium	-	LTO Ultrium
非圧縮時容量(GB) *1	100	-	100
平均圧縮容量(GB) *1	200	-	200
実効転送速度 *2	15MB/s	-	15MB/s
カートリッジ収容数	20	20	-
外形寸法(WxDxH)	442x696x216[mm]	442x696x216[mm]	-
皮相電力	250VA	250VA	-
消費電力	175W	175W	-
質量	約 30Kg	約 25kg	-
AC ケーブル長	4m	4m	-

*1)理論値であり、データによっては記載内容を下回る場合があります。
平均圧縮容量は圧縮効率を 2:1 と仮定した場合の値(圧縮効率は圧縮するデータによって異なる)。

*2)非圧縮時の値。理論値でありシステム構成、使用するアプリケーション、動作環境によって下回る場合があります。

N8160-40 は N8160-32 に 2 台まで増設可能(1 台増設時：11U、2 台増設時：16U)。

N8160-33 は N8160-32 に 1 台まで、N8160-40 には 2 台まで増設可能。

N8160-40 Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体を UPS に接続する場合は、N8160-32 Upgrade 型 LTO ライブラリと同一の UPS へ接続のこと。

型名	製品名	備考
N8103-69	LTO ライブラリ用 FibreChannel コントローラ	Upgrade 型 LTO ライブラリを、FibreChannel で接続 する際に使用

■ 内蔵 IDE デバイスのインターフェース

ATA 40pin
内蔵 AIT(IDE)(N8151-50)

■ 内蔵 IDE デバイスの動作速度(IDE 側同期転送 最大値)

接続する本体サーバの IDE インターフェースにより、最大転送速度が変わる場合があります。

ATA(66.6MB/sec Ultra DMA[mode4])
内蔵 AIT(IDE)(N8151-50)

■ 内蔵 SCSI デバイスのインターフェース

	D-sub ハ - フピッチ 50pin	D-sub ハーフピッチ 68pin
SE	内蔵 MO (N8151-25) 内蔵 DAT (N8151-12BC)	内蔵 DLT (N8151-17)
LVD/SE		内蔵 DAT (N8151-45) 内蔵 DAT 集合型 (N8151-27) 内蔵 DAT 集合型 (N8151-39) 内蔵 SDLT(N8151-38) 内蔵 AIT (N8151-34A) 内蔵 AIT (N8151-46) 内蔵 AIT (N8151-41A) 内蔵 AIT 集合型 (N8151-36) 内蔵 AIT 集合型 (N8151-29) 内蔵 LTO(N8151-37) 内蔵 LTO(N8151-40)

■ 内蔵 SCSI デバイスの動作速度(SCSI 側同期転送 最大値)

接続する本体サーバの SCSI インターフェースや SCSI コントローラ(PCI)により、最大転送速度が変わる場合があります。

Fast Narrow (Max 10MB/sec)	Ultra Wide (Max 40MB/sec)	Ultra2 Wide (Max 80MB/sec)
内蔵 DAT(N8151-12BC)	内蔵 DAT (N8151-45)	内蔵 SDLT(N8151-38)
Fast Wide (Max 20MB/sec)	内蔵 DAT 集合型 (N8151-27)	内蔵 LTO(N8151-37)
内蔵 DLT(N8151-17)	内蔵 DAT 集合型 (N8151-39)	内蔵 LTO(N8151-40)
Ultra Narrow (Max 20MB/sec)	内蔵 AIT (N8151-34A)	Ultra160 Wide (Max 160MB/sec)
内蔵 MO(N8151-25)	内蔵 AIT (N8151-46)	内蔵 AIT(N8151-41A)
	内蔵 AIT 集合型(N8151-36)	
	内蔵 AIT 集合型(N8151-29)	

■ 外付 SCSI デバイスのインターフェース

	アンフェノールフルピッチ 50pin	D-sub ハーフピッチ 68pin
SE	外付 DAT 集合型 (N8560-13AC)	外付 DLT(N8560-14)
LVD/SE		外付 DAT (N8560-22) 外付 DAT 集合型 (N8560-23) 外付 LTO (N8160-46) 外付 LTO 集合型 (N8160-34) LTO 集合型[ラックマウント用] (N8160-35) AIT 集合型(ラックマウント用) (N8160-43)
HVD		外付 DLT 集合型 (N8160-29) DLT 集合型[ラックマウント用] (N8160-30)

■ 外付 SCSI デバイスの動作速度(SCSI 側同期転送 最大値)

接続する本体サーバの SCSI インターフェースや SCSI コントローラ(PCI)により、最大転送速度が変わる場合があります。

Fast Narrow (Max 10MB/sec)	Ultra2 Wide (Max 80MB/sec)
外付 DAT 集合型(N8560-13AC)	外付 LTO(N8160-46)
Fast Wide (Max 20MB/sec)	外付 LTO 集合型(N8160-34)
外付 DLT(N8560-14)	LTO 集合型[ラックマウント用] (N8160-35)
外付 DLT 集合型(N8160-29)	Ultra160 Wide (Max 160MB/sec)
DLT 集合型[ラックマウント用] (N8160-30)	AIT 集合型(ラックマウント用) (N8160-43)
Ultra Wide (Max 40MB/sec)	
外付 DAT(N8560-22)	
外付 DAT 集合型(N8560-23)	

■ ライブラリ関連 SCSI デバイスのインターフェース

	D-sub ハーフピッチ 68pin
LVD/SE	Upgrade 型 LTO ライブラリ(N8160-32) Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体(N8160-40) Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ(N8160-33) AIT ライブラリ(N8160-41) AIT ライブラリ(N8160-44)
HVD	Upgrade 型 DLT ライブラリ(N8160-26) Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設筐体(N8160-27) Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設ドライブ(N8160-28)

■ ライブラリ関連 SCSI デバイスの動作速度(SCSI 側同期転送 最大値)

接続する本体サーバの SCSI インターフェースや SCSI コントローラ(PCI)により、最大転送速度が変わる場合があります。

Fast Wide (Max 20MB/sec)
Upgrade 型 DLT ライブラリ(N8160-26)
Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設筐体(N8160-27)
Upgrade 型 DLT ライブラリ用増設ドライブ(N8160-28)
Ultra Wide (Max 40MB/sec)
AIT ライブラリ(N8160-41)
Ultra2 Wide (Max 80MB/sec)
Upgrade 型 LTO ライブラリ(N8160-32)
Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設筐体(N8160-40)
Upgrade 型 LTO ライブラリ用増設ドライブ(N8160-33)
Ultra160 Wide (Max 160MB/sec)
AIT ライブラリ(N8160-44)

注:SE=Single-Ended

LVD= Low Voltage Differential

HVD= High Voltage Differential

■ N8141-28A デバイス増設ユニットで構成を組むうえでの留意事項

- ・ 120Ee(R), 110Rd-1と接続する場合
SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65]を使用して下さい。
- ・ 120Lf(R),120Me(R)の本体SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K408-31C(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続するSCSI バスのSCSI 転送速度を10MHzに設定してください。
- ・ 140Hc(R),140Rb-4,180Rc-4の本体SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続するSCSI バスのSCSI 転送速度を10MHzに設定してください。
- ・ 120Rb-1,120Rc-1,120Rd-2,120Re-2の本体SCSI インタフェース(外部用)と接続する場合
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続するSCSI バスのSCSI 転送速度を40MHzまで設定可能。
- ・ SCSIコントローラ(PCI)[N8103-42]と接続する場合
[K408-31C(01)/(1A)]を使用して下さい。
本体サーバのデバイス増設ユニットに接続するSCSI バスのSCSI 転送速度を20MHzまで設定可能。
K408-31C(02)を使用する場合は、SCSI 転送速度を10MHzに設定して下さい。
- ・ SCSI コントローラ(PCI)[N8103-65]と接続する場合
[K410-94(01)/(02)]を使用して下さい。

DAT装置 取り扱いについて

定期的なクリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。

磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み / 読み取り等、行いますと正常に書き込み / 読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

クリーニングの周期は使用環境によってもことなりますが以下を参考にしてください

使用頻度	クリーニング周期
1日1巻以下を使用	1週間に1回
1日2～3巻を毎日使用	1週間に2回
1日4巻を毎日使用	毎日

- クリーニングカートリッジは
NEC EF-3237CN
をお使いください

- クリーニングカートリッジは
約50回使用することができます

- クリーニングカートリッジを使用する
際は使いきっていないかを確認
してください

- クリーニングはなるべく書き込み /
読み取り等、DAT装置を使用する前
に行ってください

- 新しいデータカートリッジに
交換する前にはクリーニングを
行ってください

- DAT装置を使用していない場合
でも1ヶ月に1回はクリーニングを
行ってください

クリーニング方法は装置添付の取扱説明書を参照ください

データカートリッジの寿命について

データカートリッジは書き込み / 読み取り等を行う度に消耗しています。

消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

データカートリッジの寿命は使用環境によってもことなりますが以下を参考にしてください

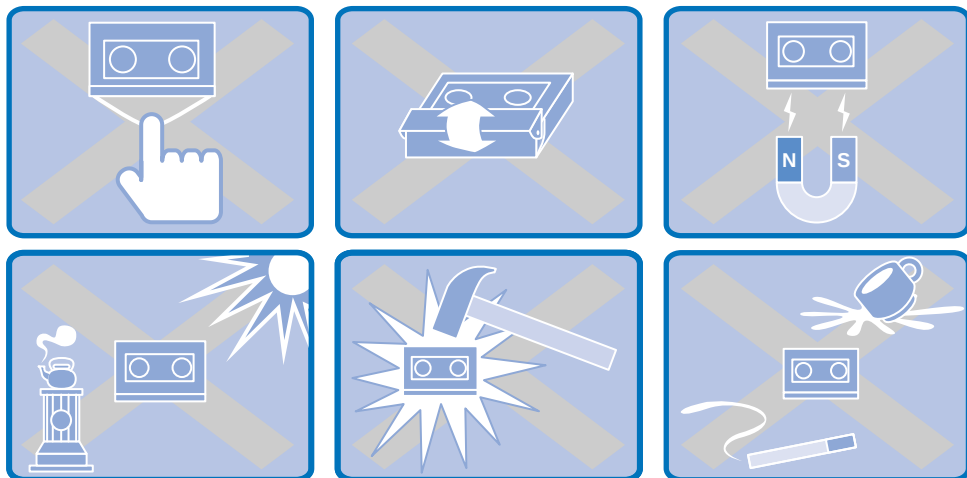
使用頻度	寿命の目安
1週間に1回	1年
1週間に3回	半年
毎日	3ヶ月

- 使用環境(温度・湿度・塵埃等)によって、目安より短くなることがあります



データカートリッジの取り扱いについて

- (1) テープ部分にはふれないでください。
- (2) テープカバーを開閉しないでください。
- (3) 磁気の発生するものを近づけないでください。
- (4) 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。
- (5) 衝撃を与えないでください。
- (6) 飲食・喫煙をしながらの取り扱いはしないでください。
- (7) 周囲温度にじゅうぶんなじませてから使用してください。



DAT装置の取り扱いについて

DAT装置を正しく動作させるために以下の注意事項をお守りください
(下記注意事項以外にも添付の取扱説明書をよく読み正しくお取り扱いください)

- カートリッジを入れたままでの移動はやめてください
移動する場合は、必ずカートリッジをDAT装置から取り出してください。
衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを痛める場合があります。
- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください
カートリッジを入れたままで電源を入れるとカートリッジの寿命が短くなったり
バックアップに失敗する場合があります。
- カートリッジが挿入口から飛び出している状態で長期間放置
しないでください
カートリッジの寿命が短くなったりDAT装置の故障の原因となることがあります。

DLT装置 取り扱いについて

定期的なクリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み/読み取り等を行うと、正常に書き込み/読み取りができない、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

クリーニングの周期は使用環境によってもこととなりますが以下を参考にしてください

クリーニング周期
バックアップ時間50時間毎に1回または、1ヶ月に1回
Use Cleaning Tape LED点灯時

●クリーニングカートリッジは
「NEC EF-3237E」
をお使いください

●クリーニングカートリッジは
約20回使用することができます

●クリーニングカートリッジを使用する
前に使い切っていないことを確認して
ください

●クリーニングは書き込み/読み取り等、
DLT装置を使用する前に行ってくだ
さい

●新しいデータカートリッジに交換する
前にはクリーニングを行ってください

●DLT装置を使用していない場合でも
1ヶ月に1回はクリーニングを行って
ください

クリーニング方法はDLT装置添付の取扱説明書を参照ください

データカートリッジの寿命について

データカートリッジは書き込み/読み込み等を行う度に消耗しています。消耗したカートリッジを使用し続けることはエラーの原因となるだけでなく、書き込んだデータの破損にいたる場合がありますので、長い間使用しているテープは交換してください。

DLT テープの寿命の目安

使用回数	1500回
使用寿命	5年（マシン室にて使用）
	2年（一般事務所にて使用）
保管寿命	5年

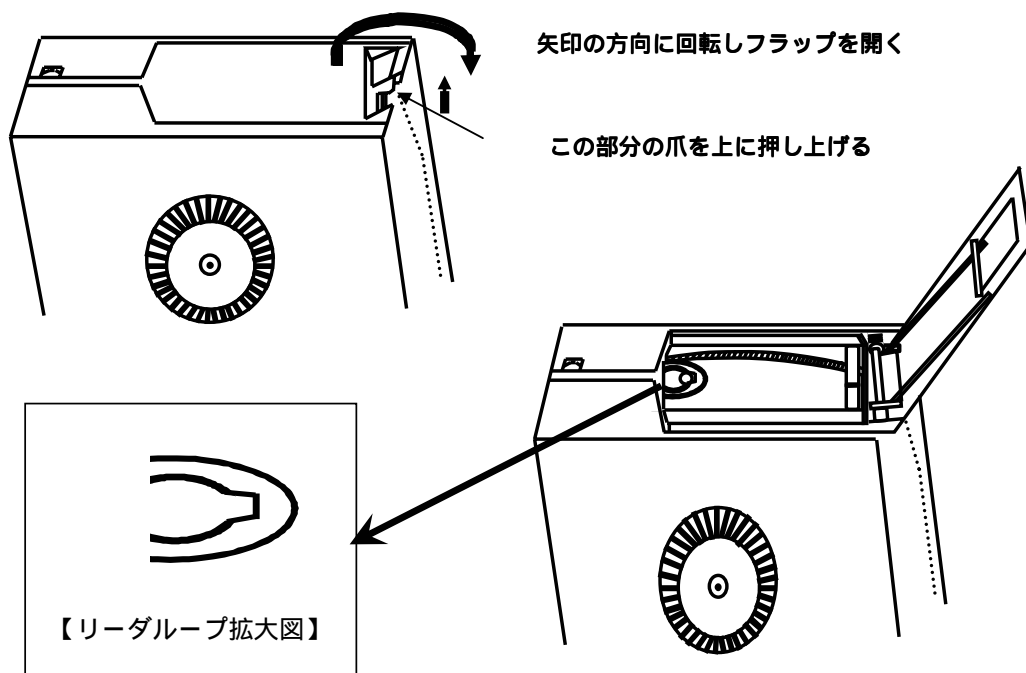
●使用環境（温度・湿度・塵埃等）によって、目安より短くなることがあります

データカートリッジの取り扱いについて

- テープ部分には触れないでください
- 磁気の発生するものを近づけないでください
- 直射日光や暖房器具の近くには置かないでください
- 衝撃を与えないでください
- 飲食・喫煙をしながらの取り扱いはしないでください
- 装置への挿入は正しいに行ってください

データカートリッジをご使用になる前に

- データカートリッジの外観に損傷のないことを確認します
- データカートリッジをゆっくり振り、カラカラと音がしないことを確認します。
- 以下の手順に従って、データカートリッジのリーダグループに損傷がないことを確認します



この位置にリーダグループがあることを目視確認する

リーダグループに損傷がないことを目視確認する
(注意) 輪が切れていたり、折れ曲がったりしていないかを確認します

NEC

日本電気株式会社
NEC corporation

804-089448-002-0

AIT装置 取り扱いについて

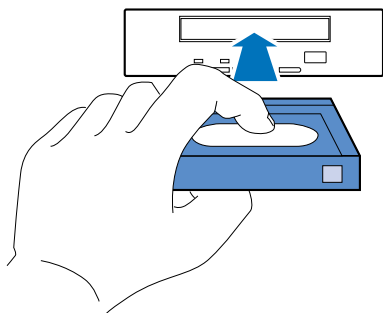
定期的なクリーニングについて

クリーニングは、テープ走行によって生じるゴミや使用環境のほこりによる磁気ヘッド部分への汚れを取り除く大切なものです。

磁気ヘッド部分が汚れたまま書き込み / 読み取り等、行いますと正常に書き込み / 読み取りができなくなる、データカートリッジの寿命が短くなる、テープ表面にキズが付き使用できなくなる、などの障害が発生します。

1週間に1回“ クリーニング ”を 必ず行いましょう

1. 装置の電源が入っていることを確認します。
2. クリーニングテープを挿入します。
3. クリーニングテープを挿入することにより、クリーニングは自動的に行われ、約35秒後に排出されます。



クリーニングテープは
NEC EF-3237J
をお使いください

クリーニングテープは、1巻あたり
約70回使用することができます。

集合型AIT装置をお使いの場合は、装置に添付されているマニュアルまたは、バックアップアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

AITテープ寿命について

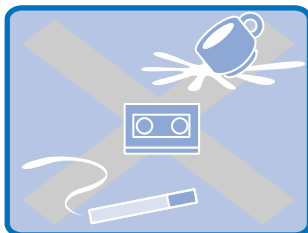
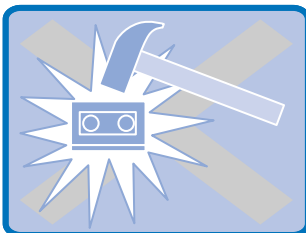
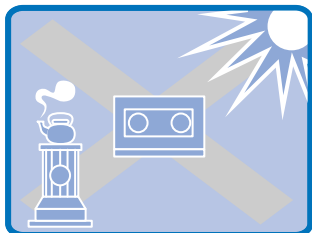
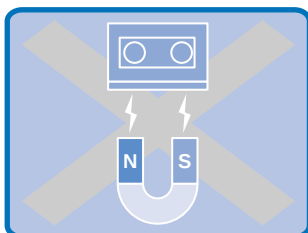
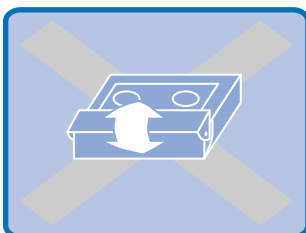
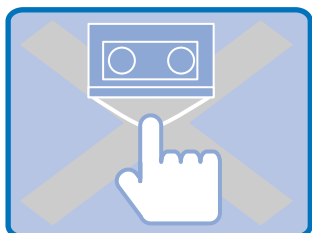
AITテープの寿命は、温度・湿度や、塵埃、ヘッドクリーニング回数などによって左右されます。

毎日1回使用した場合、使用開始より1年後に交換することをおすすめします。

また、1年未満でもエラーが頻繁に発生する場合は、その前に交換をお願いします。

データカートリッジの取り扱いについて

- (1) テープ部分にはふれないでください。
- (2) テープカバーを開閉しないでください。
- (3) 磁気の発生するものを近づけないでください。
- (4) 直射日光のあたる場所や暖房器具の近くには置かないでください。
- (5) 衝撃を与えないでください。
- (6) 飲食・喫煙をしながらの取り扱いはしないでください。
- (7) 周囲温度にじゅうぶんなじませてから使用してください。



AIT装置の取り扱いについて

AIT装置を正しく動作させるために以下の注意事項をお守りください
(下記注意事項以外にも添付の取扱説明書をよく読み正しくお取り扱いください)

- カートリッジ、マガジンを入れたままでの移動はやめてください
移動する場合は、必ずカートリッジ、マガジンをAIT装置から取り出してください。
衝撃が加わったとき、装置やカートリッジを痛める場合があります。
- 電源を切るときは、カートリッジを取り出してください
カートリッジを入れたまま電源を入れるとカートリッジの寿命が短くなったりバックアップに失敗する場合があります。集合AITをお使いのお客様は、マガジンを取り出すかカートリッジをドライブからマガジンに戻した状態で電源を切ってください。
- カートリッジ、マガジンが挿入口から飛び出している状態で長期間放置しないでください
カートリッジの寿命が短くなったりAIT装置の故障の原因となることがあります。

	装置種類 (型名)	タイプ		NT Backup			ARCServe												
				Windows NT 3.51	Windows NT 4.0	Windows 2000	ARCServe J1.0	Changer Option J1.0	ARCServe J2.01	Changer Option J1.01	ARCServe J6.0	Changer Option J2.0	ARCServe J6.5	Tape Library Option J3.0	ARCServe J6.61 for WinNT	ARCServe J6.61 for Win2000	ARCServe 2000	Tape Library Option	
対応OS	Windows NT 3.5			-	-	-	○		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	Windows NT 3.51			○	-	-	-		○		○	-	○	-	○	-	-	-	
	Windows NT 4.0			-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	x	○	x	x	x	-	x	-	x	-	○*4	-	○	○	○	-
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	x	x	x	x		x		x		○*4	-	○	○	○	-	
	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	x	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	
DAT	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	○	○	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	○	○	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	
	N8551-12																		
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	○*w1	○*w2	○*w3	x	-	x	-	○*1	-	○	-	○	○	○	-	
	N8551-12BC																		
	N8151-12BC																		
	N8551-26																		
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	x	○*w4	○	x	-	x	-	x	-	x	-	○*5	○	○	-	
	N8151-43																		
	N8151-45																		
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	x	x	x	○		○		○		○		○	○	○	-	
	N8551-13																		
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	x	x	x	x		x		x		○*2		○	○	○	-	
	N8151-13AC																		
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8151-27																		
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*12	-	
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	x	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-
	N8560-12	外付DAT	DDS3	○*w1	○*w2	○*w3	x	-	x	-	○*1	-	○	-	○	-	○	○	-
	N8560-12AC	外付DAT	DDS4	x	○*w4	○	x	-	x	-	x	-	x	-	○*6	○	○	○	-
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	x	x	x	○		○		○		○		○	○	○	-	
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	x	x	x	○		○		○		○		○	○	○	-	
	N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	x	x	x	x		x		x		○*2		○	○	○	-	
	N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS4	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
AIT	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	x	○*w4	x	x	-	x	-	x	-	○*3	-	○*5	○	○	-	
	N8551-34	内蔵AIT	AIT1	x	○*w4	○*w4	x	-	x	-	x	-	○*3	-	○*5	○	○	-	
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	x	○*w4	○*w4	x	-	x	-	x	-	○*3	-	○*5	○	○	-	
	N8151-34A																		
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	*w4	*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	x	-	*14	-	
	N8551-28																		
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	x	○*w4	○*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	○*5	○	○	-	
	N8151-44																		
	N8151-46	内蔵AIT	AIT3	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*12	-	
	N8151-41																		
	N8151-41A	内蔵AIT	AIT3	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*12	-	
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	x	x	x	x		x		x		○*3		○*5	○	○	-	
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	x	x	x	x		x		x		○*3		○*5	○	○	-	
	N8151-36	内蔵AIT集合型	AIT1	x	x	x	x		x		x		○*3		○*5	○	○	-	
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8151-29	内蔵AIT集合型	AIT2	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8160-43	AIT集合型 (フラッシュ用)	AIT3	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*13	-	
N8160-41	AITライブラリ (フラッシュ用)	AIT2	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*8.12	-		
N8160-44	AITライブラリ (フラッシュ用)	AIT3	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*8.13	-		
N8560-16	外付AIT	AIT1	x	x	x	x	-	x	-	x	-	○*3	-	○*5	○	○	-		
N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	x	x	x	x		x		x		○*3		○*5	○	○	-		
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	x	x	x	x	-	x	-	○	-	○	-	○	○	○	-	
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	x	x	x	x	-	x	-	x	-	○	-	○	○	○	-	
	N8151-17	内蔵DLT	DLT7000	x	x	x	x	-	x	-	x	-	○	-	○	○	○	-	
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*12	-	
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	x	x	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	-	
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	x	x	x	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	○	-	
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	x	x	x	x	-	x	-	x	-	○	-	○	○	○	-	
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	x	x	x	○		○		○		○		○	○	○	-	
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	x	x	x	○		○		○		○		○	○	○	-	
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	x	x	x	x		x		x		○*3		○	○	○	-	
	N8560-21	DLT集合型 (フラッシュ用)	DLT7000	x	x	x	x		x		x		○*3		○	○	○	-	
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8160-29	外付DLT集合型	DLT8000	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8560-30	DLT集合型 (フラッシュ用)	DLT8000	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8160-30	DLT集合型 (フラッシュ用)	DLT8000	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○	○	-	
	N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	x	x	x	x		x		x		x		○*6	○*7	○*8*10	-	
	N8160-26																		
	LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultriium-1	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*9	-
N8151-37		内蔵LTO	Ultriium-1	x	○*w4	○*w4	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*12	-	
N8560-39		外付LTO	Ultriium-1	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*9	-	
N8160-39		外付LTO	Ultriium-1	x	x	x	x	-	x	-	x	-	x	-	x	x	○*12	-	
N8160-46		Upgrade型LTOライブラリ	Ultriium-1	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*11	-	
N8160-32		外付LTO集合型	Ultriium-1	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*12	-	
N8160-34		LTO集合型 (フラッシュ用)	Ultriium-1	x	x	x	x		x		x		x		x	x	○*12	-	
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	x	x	x	○	-	○	-	x	-	x	-	x	x	x	-	
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	x	x	x	○	-	○	-	x	-	x	-	x	x	x	-	

	装置種類 (型名)	タイプ		Backup Exec						
				Backup Exec 7.0J	オーロラ・データ・リカバリ Backup Exec 7.3/7.2	オーロラ・データ・リカバリ Backup Exec 8.0	Library/Expansion Backup Exec 8.5	Library/Expansion Backup Exec 8.6	Library/Expansion Backup Exec 8.7J	Library/Expansion Backup Exec 8.7J
対応OS	Windows NT 3.5			-	-	-	-	-	-	-
	Windows NT 3.51			○	○	○	○	○	○	○
	Windows NT 4.0			○	○	○	○	○	○	○
	Windows 2000			-	-	-	-	-	-	-
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	○*a	-	○	-	○	-	○
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	○*a	-	○	-	○	-	○
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	-	x	-	x	-	x
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-12			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-12BC			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-12BC			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-26			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○
	N8151-43			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-45			-	-	-	-	-	-	-
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-13			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-13AC			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○
	N8151-27			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	x	-	x	-	x	-	x
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	-	x	-	x	-	x
	N8560-12	外付DAT	DDS3	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-12AC	外付DAT	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○
	N8560-22	外付DAT	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	○*b	-	○*b	-	○	-	○
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-34A			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	-	x	-	x	-	○*k
	N8551-28			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	○*a	-	○*a	-	○	-	○
	N8151-44			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-46			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	x	-	x	-	x	-	○*h
	N8151-41A			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○
	N8151-36			-	-	-	-	-	-	-
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	x	-	x	-	○*d	-	○
	N8151-29			-	-	-	-	-	-	-
	N8160-43	AIT集合型 (フラグメント用)	AIT3	x	-	x	-	x	-	○*k
	N8160-41	AITライブラリ (フラグメント用)	AIT2	x	-	x	-	x	-	○*c,h
	N8160-44	AITライブラリ (フラグメント用)	AIT3	x	-	x	-	x	-	○*c,k
	N8560-16	外付AIT	AIT1	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	○*a	-	○	-	○	-	○
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○
	N8151-17			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	x	-	x	-	x	-	○
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-21	DLT集合型 (フラグメント用)	DLT7000	○	-	○	-	○	-	○
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	x	-	x	-	○	-	○
	N8160-29			-	-	-	-	-	-	-
	N8560-30	DLT集合型 (フラグメント用)	DLT8000	x	-	x	-	○	-	○
	N8160-30			-	-	-	-	-	-	-
	N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	x	-	x	-	○*c*e	-	○*c*e
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultriium-1	x	-	x	-	○*b	-	○*b
	N8151-37			-	-	-	-	-	-	-
	N8151-40	内蔵LTO	Ultriium-1	x	-	x	-	○*b	-	○*b
	N8560-39	外付LTO	Ultriium-1	x	-	x	-	○*b	-	○*b
	N8160-39			-	-	-	-	-	-	-
	N8160-46	外付LTO	Ultriium-1	x	-	x	-	○*b	-	○*b
	N8560-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultriium-1	x	-	x	-	○*c*e*f	-	○*c*e
	N8160-32	外付LTO集合型	Ultriium-1	x	-	x	-	○*g	-	○*g
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	○	-	○	-	○	-	○
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	○	-	○	-	○	-	○

	装置種類 (型名)	タイプ	NetBackup		
			NetBackup 3.2	NetBackup 3.4	NetBackup 4.5
対応OS	Windows NT 3.5		-	-	-
	Windows NT 3.51		-	-	-
	Windows NT 4.0		○	○	○
	Windows 2000		-	○	○
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	x	○ x
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	x	x x
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	x x
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	x	○ x
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	x	○ x
	N8551-12			-	○
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	x	○
	N8551-12BC				
	N8151-12BC				
	N8551-26				
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	x	○
	N8151-43				
	N8151-45				
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	x	x x
	N8551-13				
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	○	○
	N8151-13AC				
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	x	○
	N8151-27				
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	x	○ ○*B
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	x x
	N8560-12	外付DAT	DDS3	x	○
	N8560-12AC				
	N8560-22	外付DAT	DDS4	x	○ ○*B
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	x	x x
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	x	x x
	N8560-13	外付DAT集合型	DDS3	○	○
	N8560-13AC				
	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	x	○
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	x	○
	N8551-34				
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	x	○
	N8151-34A				
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	x x
	N8551-28				
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	x	○
	N8151-44				
	N8151-46				
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	x	○
	N8151-41A				
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	x	○
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	x	○
	N8151-36				
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	x	○
	N8151-29				
	N8160-43	AIT集合型 (バックアップ用)	AIT3	x	○
	N8160-41	AITライブラリ (バックアップ用)	AIT2	x	○
	N8160-44	AITライブラリ (バックアップ用)	AIT3	x	○
	N8560-16	外付AIT	AIT1	x	○
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	x	○
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	○*A	○*A
	N8551-17				
	N8151-17	内蔵DLT	DLT7000	○*A	○*A
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	x	○
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	○*A	○*A
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	○*A	○*A
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	○*A	○*A
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	○*A	○*A
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-21	DLT集合型 (バックアップ用)	DLT7000	○*A	○*A
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	x	○*A
	N8160-29				
	N8560-30	DLT集合型 (バックアップ用)	DLT8000	x	○*A
	N8160-30				
	N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	○*A	○*A
	N8160-26				
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	x	○
	N8151-37				
	N8151-40	内蔵LTO	Ultrium-1	x	○
	N8560-39	外付LTO	Ultrium-1	x	○
	N8160-39	外付LTO	Ultrium-1	x	○
	N8160-46	外付LTO	Ultrium-1	x	○
	N8560-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	x	○
	N8160-32				
CGMT	N8160-34	外付LTO集合型	Ultrium-1	x	○
	N8160-35	LTO集合型 (バックアップ用)	Ultrium-1	x	○
	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	x	x x
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	x	x x

○:サポート ×:未サポート △:サポート予定(確認中)

<NTBackup>

*w1: Windows NT 3.51ではテープデバイスに『4mm SONYドライブ』を選択願います。

*w2: Windows NT4.0ではテープデバイスに『4mm DATドライブ』を選択願います。

*w3: Windows 2000をExpress上で使用するには、Express5800 Windows 2000サポートキットが必要です。

*w4: 装置添付のドライバをご使用ください。

<ARCserve>

*1,2: *1はARCserve J6.0 Service Pack1以降(SP3を推奨)、*2はARCserve J6.0 Service Pack3を適用願います。

*3,4: *2はARCserve J6.5 Patch05以降(Patch07を推奨)、*4はARCserve J6.5 Patch07を適用願います。

*5,6: *5はbuild 893へのアップデートとPatch02以降、*6はbuild 893へのアップデートとPatch03以降を適用願います。

*7: テープライブラリに1ドライブ実装/20スロット(基本構成)までのサポートです。

*8: テープライブラリに1ドライブ実装は標準サポート 2ドライブ以上実装時は、Tape Library Optionが必要です。

*9: ARCserve 2000用デバイス追加/パッチ(Lo81604)またはService Pack 2以降が必要です。

*10: Fibre Channel(FC)接続の場合はSAN Optionが必要です。

*11: ARCserve 2000 Service Pack 2以降(SP3を推奨)が必要です。

*12: ARCserve 2000 Service Pack 2およびデバイスパッチ(Lo99724以降)、またはService Pack 3が必要(SP3を推奨)です。

*13: ARCserve 2000 Service Pack 3およびデバイスパッチ(Qo15894以降)が必要です。

*14: ARCserve 2000 Service Pack 3およびデバイスパッチ(Qo24708以降)が必要です。

<Backup Exec>

*a: ベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。

*b: ベリタス社のホームページより最新ドライバをダウンロード願います。

*c: テープライブラリのドライブが2ドライブ以上の場合は、Library Expansion Optionが追加ドライブ数分必要です。

*d: build 3314以前の場合はベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。

*e: Fibre Channel(FC)接続の場合はShared Storage Option(v8.0)/SAN共有デバイスOption(v8.5/8.6)が必要です。

*f: build 3571の場合はベリタス社のホームページより対応モジュールをダウンロード願います。

*g: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ (nt85idrv28.exe)が必要です。

*h: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ (nt86idrv31_243823.exe以降)が必要です。

*i: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ (nt86idrv33_247699.exe以降)が必要です。

*k: ホームページ(<http://www.veritas.com/jp/support/>)から入手したドライバ (nt86idrv34_250034.exe以降)が必要です。

<Net Backup>

*A: NetBackupでDLTドライブを使用する場合は、対応するドライバをQUANTUM社のホームページからダウンロード願います。

*B: Windows 2000のみのサポート。

Express5800 Windows2000サポートキットは58番街(<http://express5800.com/>)からダウンロードできます。

ARCserveのService Pack、修正モジュールはESSに添付されますが、コンピュータ・アソシエイツ社のホームページ(<http://www.caj.co.jp/>)からもダウンロードできます。

ARCserveIT 6.61 Windows NT版build 893はESS RL2000/06に収録されているほか、コンピュータ・アソシエイツ社ホームページより体験版を申し込む事で入手できます。ESS RL2000/03以前でインストールしている場合はESS EL2000/06以降またはコンピュータ・アソシエイツ社より入手した体験版を上書きインストールしてください。

Backup Execの修正モジュール / ドライバはベリタス社のホームページ (<http://www.veritas.com/jp/>) からダウンロードでき、QUANTUM社のDLTドライバはQUANTUM社のホームページ (<http://www.quantum.com/>) からダウンロードできます。

注 ARCserveIT、ARCserveでリストアの際は、バックアップ時と同型の装置をご使用下さい。異なるテープ装置間でのデータ交換はサポートしていません。ARCserveIT、ARCserveではテープ装置種別により制御が異なるため、同一規格のテープを使用しても、別種類の装置ではエラーが発生する、テープを認識できない、リストアできないという現象が発生する場合があります。

NetWare

NetWare標準バックアップおよびARCserveとバックアップ装置の互換性は以下の通り。

	装置種類 (型名)	タイプ		標準 バックアップ	ARCserve					
					ARCserve J6.0 Changer Option J3.0		ARCserveIT 6.6 Tape Library Option		ARCserve 7 *2 Tape Library Option *2	
対応OS	NetWare 3.2J		-	○	○	×	×			
	NetWare 4.1J		-	○	×	×				
	intraNetWare		-	○	×	×				
	NetWare 4.2		-	○	○	○				
	NetWare 5		-	×	○	○				
	NetWare 5.1		-	×	×	○				
TRA VAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	×	×	×	×			
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	×	×	×	×			
D A T	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	○	○	-	○	-	○	-
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	○	○	-	○	-	○	-
	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	○	○	-	○	-	○	-
	N8551-12 N8551-12A N8551-12BC N8151-12BC	内蔵DAT	DDS3	○	○	-	○	-	○	-
	N8551-26 N8151-26	内蔵DAT	DDS4	○	×	-	○	-	○	-
	N8151-43	内蔵DAT	DDS4	○	×	-	○	-	○	-
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	-	○		○		○	
	N8551-13 N8551-13AC N8151-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	-	○		○		○	
	N8551-27 N8151-27	内蔵DAT集合型	DDS4	-	×		○		○	
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	-	×		○		○	
	N8560-02	外付DAT	DDS1	○	○	-	○	-	○	-
	N8560-12 N8560-12AC	外付DAT	DDS3	○	○	-	○	-	○	-
	N8560-22	外付DAT	DDS4	○	×	-	○	-	○	-
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	-	○		○		○	
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	-	○		○		○	
	N8560-13 N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS3	-	○		○		○	
	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	-	×		○		○	
A I T	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	○*1	○	-	○	-	○	-
	N8551-34 N8151-34	内蔵AIT	AIT1	○*1	○	-	○	-	○	-
	N8551-28 N8151-28	内蔵AIT	AIT2	○*1	×	-	○	-	○	-
	N8151-44	内蔵AIT	AIT2	○*1	×	-	○	-	○	-
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	×	×	-	×	-	○	-
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	-	×		○		○	
	N8551-29 N8151-29	内蔵AIT集合型	AIT2	-	×		○		○	
	N8551-36 N8151-36	内蔵AIT集合型	AIT1	-	○		○		○	
	N8560-16	外付AIT	AIT1	○*1	○	-	○	-	○	-
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	-	×		○		○	
	N8160-41	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT2	×	×		×		×	
	N8160-43	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT3	×	×		×		×	
	N8160-44	AITライブラリ(ラックマウント用)	AIT3	×	×		×		×	

	装置種類 （型名）	タイプ		標準 バックアップ	ARCserve					
					ARCserve J6.0	Changer Option J3.0	ARCserveIT 6.6	Tape Library Option	ARCserve 7 *2	Tape Library Option *2
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	×	○	-	○	-	○	-
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	×	○	-	○	-	○	-
	N8151-17									
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	○	○	-	○	-	○	-
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	×	○	-	○	-	○	-
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	×	○	-	○	-	○	-
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2500	-	○		○		○	
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4500	-	○		○		○	
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	-	×		×		×	
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	-	×		×		×	
	N8160-29									
	N8560-21	DLT集合型（ラックマウント用）	DLT7000	-	×		×		×	
N8560-30	DLT集合型（ラックマウント用）	DLT8000	-	×		×		×		
N8160-30										
N8560-26	Upgrade型DLTライブラリ	DLT8000	-	×		×		×		
N8160-26										
SDLT	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT	-	×	-	○	-	○	-
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	×	×	-	×	-	○	-
	N8151-37									
	N8151-40	内蔵LTO	Ultrium-1	×	×	-	×	-	○	-
	N8560-39	外付LTO	Ultrium-1	×	×	-	×	-	○	-
	N8160-39									
	N8160-46	外付LTO	Ultrium-1	×	×	-	×	-	○	-
	N8160-34	外付LTO集合型	Ultrium-1	-	×		×		○	
	N8160-35	LTO集合型（ラックマウント用）	Ultrium-1	-	×		×		×	
N8560-32										
N8160-32	Upgrade型LTOライブラリ	Ultrium-1	-	×		×		×		
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	×	×	×	×	×	×	×
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	×	×	×	×	×	×	×

(0016)

*1 : NetWare 5.x/NetWare 4.2/intraNetWare のみ (3.x/4.1J はサポート対象外)

*2 : ARCserve 7 および ARCserve 7 対応版 Tape Library Option for NetWare は NEC から出荷される製品ではありません。
別途、製造元のコンピュータアソシエイツ社(<http://www.caj.co.jp/>)からの手配を行う必要があります。

	装置種類 (型名)	タイプ		ARCserve for Linux				NetVault
				ARCserveIT 6.6 for Linux	Tape Library Option	ARCserve 7 for Linux *L0	Tape Library Option	
TRAVAN	N8551-21	内蔵TRAVAN	NS20	x	-	x	-	○
	N8560-19	外付TRAVAN集合型	NS20	x	-	x	-	○
DAT	N8552-02	内蔵DAT	DDS1	x	-	x	-	x
	N7615-92	内蔵DAT	DDS2	x	-	x	-	○
	N7615-92A	内蔵DAT	DDS2	x	-	x	-	○
	N8551-12							
	N8551-12A	内蔵DAT	DDS3	○	-	○	-	○
	N8551-12BC							
	N8151-12BC							
	N8551-26							
	N8151-26	内蔵DAT	DDS4	○	-	○	-	○
	N8151-43							
	N8151-45							
	N8552-07	内蔵DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	○
	N8551-13							
	N8551-13AC	内蔵DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○
	N8151-13AC							
	N8551-27	内蔵DAT集合型	DDS4	○	-	○	-	○
	N8151-27							
	N8151-39	内蔵DAT集合型	DDS4	○*L4	-	○	-	○
	N8560-02	外付DAT	DDS1	x	-	x	-	x
	N8560-12	外付DAT	DDS3	○	-	○	-	○
	N8560-12AC							
	N8560-22	外付DAT	DDS4	○	-	○	-	○
	N7616-90	外付DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	○
	N8560-07	外付DAT集合型	DDS2	x	-	x	-	○
	N8560-13							
	N8560-13AC	外付DAT集合型	DDS3	○	-	○	-	○
	N8560-23	外付DAT集合型	DDS4	○	-	○	-	○
AIT	N8551-19	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○
	N8551-34							
	N8151-34	内蔵AIT	AIT1	○	-	○	-	○
	N8151-34A							
	N8151-50	内蔵AIT(IDE)	AIT1	x	-	x	-	0
	N8551-28							
	N8151-28	内蔵AIT	AIT2	○	-	○	-	○
	N8151-44							
	N8151-46							
	N8151-41	内蔵AIT	AIT3	x	-	○	-	○
	N8151-41A							
	N8551-20	内蔵AIT集合型	AIT1	○*L2	-	○	-	○
	N8551-36	内蔵AIT集合型	AIT1	○*L2	-	○	-	○
	N8151-36							
	N8551-29	内蔵AIT集合型	AIT2	○*L2	-	○	-	○
	N8151-29							
	N8160-43	AIT集合型 (Rackマウント用)	AIT3	x		x		○
	N8160-41	AITタイプリ (Rackマウント用)	AIT2	x		x		○
	N8160-44	AITタイプリ (Rackマウント用)	AIT3	x		x		○
	N8560-16	外付AIT	AIT1	○	-	○	-	○
	N8560-17	外付AIT集合型	AIT1	○*L2	-	○	-	○
DLT	N8551-14	内蔵DLT	DLT4000	○	-	○	-	○
	N8551-17	内蔵DLT	DLT7000	○	-	○	-	○
	N8151-17							
	N8151-38	内蔵SDLT	SDLT220	○*L4	-	○	-	○
	N8560-04	外付DLT	DLT2000	x	-	x	-	○
	N8560-10	外付DLT	DLT4000	○	-	○	-	○
	N8560-14	外付DLT	DLT7000	○	-	○	-	○
	N8560-08	外付DLT集合型	DLT2000	x	-	x	-	○
	N8560-11	外付DLT集合型	DLT4000	x	-	x	-	○
	N8560-15	外付DLT集合型	DLT7000	x	-	x	-	○
	N8560-21	DLT集合型 (Rackマウント用)	DLT7000	x	-	x	-	○
	N8560-29	外付DLT集合型	DLT8000	○*L3	-	○	-	○
	N8160-29							
	N8560-30							
	N8160-30	DLT集合型 (Rackマウント用)	DLT8000	○*L3	-	○	-	○
	N8560-26							
	N8160-26	Upgrade型DLTタイプリ	DLT8000	○*L1,2		○*L1		○
LTO	N8551-37	内蔵LTO	Ultrium-1	x	-	x	-	○
	N8151-37							
	N8151-40	内蔵LTO	Ultrium-1	○*L4	-	○	-	○
	N8560-39							
	N8160-39	外付LTO	Ultrium-1	x	-	x	-	○
	N8160-46	外付LTO	Ultrium-1	○*L4	-	○	-	○
	N8560-32							
	N8160-32	Upgrade型LTOタイプリ	Ultrium-1	x		○		○
	N8160-34	外付LTO集合型	Ultrium-1	x	-	○*L5	-	○*N1
	N8160-35	LTO集合型 (Rackマウント用)	Ultrium-1	x	-	○*L5	-	○*N1
CGMT	N7691-90	内蔵CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	x
	N7691-91	外付CGMT	QIC 5GB	x	x	x	x	x

Rev.0038

<ARCserve for Linux>

*L0: 全デバイスとも最新デバイスサポートパッチを適用のこと。

*L1: テープライブラリに1ドライブ実装(20スロット(基本構成)までは標準サポート。

2ドライブ以上または20スロット以上実装時は、Tape Library Optionが必要です。

*L2: デバイスサポートパッチ(L1B0886以降)が必要。最新デバイスパッチを推奨。

*L3: デバイスサポートパッチ(L087050以降)が必要。最新デバイスパッチを推奨。

*L4: デバイスサポートパッチ(L096843以降)が必要。最新デバイスパッチを推奨。

*L5: RedHat 7.1以降でサポート

ARCserveIT for Linuxの修正モジュールはコンピュータ・アソシエイツ社のホームページ

(http://www.caj.co.jp、認定デバイスリストのページ)からダウンロードできます。

<NetVault>

*N1: RedHat6.2では使用不可。